

会 議 録

会議の名称	第3回 日向市公共下水道事業計画市民検討委員会
開催日時	令和5年8月22日（火） 14時から15時30分まで
開催場所	日向市役所4階 委員会室
出席者	学識経験者 宮崎大学地域資源創成学部長 桑野斉 関係団体 日向市区長公民館長連合会 理事 日高辰彦 日向商工会議所 事務局長 野口洋 日向市社会福祉協議会 事務局次長 黒瀬大海（代理） 日向市男女共同参画社会推進ルーム協議会 木村礼子 公募市民 西美保子 美根香奈子 関係行政機関 日向土木事務所 技術次長 浜川浩一 日向保健所 衛生環境課長 林田哲也
議題	1) 下水道事業全体計画区域の見直し(修正案) について 2) 提言書(案) について
会議資料の名称 及び内容	会次第 資料1 説明資料(スライド) 資料2 市民説明会の結果 資料3 提言書(案)
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
1. 開会	
2. 委員長あいさつ 宮崎大学地域資源創成学部 学部長 桑野斉	
3. 報告事項 1) 第2回検討委員会の概要 2) 市民説明会・パブリックコメントの結果報告 資料1 P1～P9	
【委員長】 ここからは委員の皆様のご質問ご意見を承りたいと思います。いかがでしょうか。	

それではまず私から、私も7月25日の梶木公民館の市民説明会に同席をさせていただきました。私自身は、これまでの日向市の市政にいろいろな形で関わることがありましたが、他都市と比べて、日向市の取り組みは比較的丁寧に積み上げていく事が非常に特徴的だと思っています。その一つがこのような市民説明会、タウンミーティングというものを丹念に積み上げていきながら、その中から市民の皆さんと市政の考え方が共有されていくという、これが今後の事業を展開するうえで、市民との協働・協力が避けて通れないことから、その中で大変有益なプロセスだと思っています。

私が出席した7月25日の梶木公民館では、4名の方がご参加されましたけれど、地域の代表の方々が参加されていましたので、その方々を通じて地域の中でいろんな形で情報が伝達されていくのかなということと、これまで私が他都市の市民説明会に出た経験で言うと、やはり総論賛成で各論反対ということで、例えばこの下水道事業で言えば、区域全体の見直しはもちろん賛成だけど、私達の地区の見直しについてはどうなのかというご意見が出やすいのかなと思っていたところでしたが、そういうことはなくて、こういった取り組みも必要だろうというご意見だったと思います。ただ、一つ一つ丁寧にこの地域だとこういうお宅があって、こういう問題が出てくるのかなというような、良い意味での情報交換の場になっていたのかなと思います。

私が出席していない3地区の市民説明会の記録を読ませていただくと、同じように、建設的なご意見、前向きなご意見をいただいたと受け止めています。

補足でしたけれども、私の感想の方から先に述べさせていただきました。

皆様方のご意見やご質問でも結構ですが、いかがでしょうか。

こういった地域の説明会ですが、私が今述べたような形で私自身は受け止めましたが、委員さんの目からご覧になったこういった地域の説明会、あるいはパブリックコメントについては0件であったんですけれど、地域の方の受けとめ方、委員さん自身はどのように受け止めておられますでしょうか。

【委員】

私も財光寺地区の説明会に出させてもらいまして、8名の出席者のうち4名は地域の区長で、地域住民は4人だったんですが、この日向市の中で見ると一番住んでる人が多くて一番密接に関わっているはずの地区なんですけど、結局は参加者が少ないということを見ると、少し残念な気もしています。私はずっと日向市に住んでるので委員長との見解とは少し違うのですが、地区住民からすれば、どうせ説明会に行っても何を要望しても、きっと結果は変わらないのだからという諦めモードというものを少し感じています。市がやりたいようにやったらいいんじゃないですかねみたいな、興味がないのかなというような住民の感情ですよ。

本来は生活に一番関わる下水道問題ですから、一体市はどういうことをしたいのかっていうことをもっと興味を持ってもらわないといけないところですが、住んでいる人が興味を持っていないというような印象を受けました。

以上です。

【委員長】

貴重なご意見ありがとうございました。

やはり、政策や行政に対する賛成反対の観点だけではなく、無関心の方が一定層いるってことは、恐らく日向市だけではなく、他の都市地域でも共通の課題なのかなと思っていますが、逆にどうでしょうか？出席された方々は目立った反対だとか、そういうお立場の方はいらっしゃったのでしょうか。

【委員】

特に反対という意見はなくて、「このエリアまでは下水道事業が計画通り完了しますよね？」という確認のご意見でした。「うちの所もやってもらわないと困る」だとか、そんな意見はなくて、「中止するならそれなりの何か考えがあるんですよね？」といった感じの受け止め方だったのかなと思いました。

【委員長】

事務局が今回の市民説明会でご説明いただいた資料を私もいただいて、会場でも拝聴したのですが、行政にとっては比較的説明しづらいといえますか、いわゆる良いことばかりではなくて、メリット・デメリットという部分は割と公平に表現されていて、そういった意味では市民の皆さんのご意見が、公正に正しく出てくるような、そういった資料構成になっていたのかなと思います。

ですから、今回資料1の例えば合併浄化槽への転換に関して、費用負担の公平性という部分でのご意見も出てますけれども、必ずしも耳障りの良い情報だけじゃなくて、行政の課題も含めてご説明されたところは良かったのかなという気はしております。

他の委員さんからもご感想をいただけたらと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】

私も地域住民の方々に聞いてみたのですが、どなたも説明会に出席されていなくて、やはり皆さん関心がないのかなと、先ほど委員さんが言われたようなことを私も感じました。そのときに、これから合併浄化槽に転換していく中で、金額が高額になりますので、高齢者家庭だったり年金生活の人だったり、一人暮らしの方だったりとか、負担が大きくなると思うのですが、その辺りの具体的な質問などは出なかったのかなと思いました。

そういうことを、もう少し問題意識を高めることが必要じゃないかと感じました。私も委員になるまでは何も困るようなことがなかったものですから、現状維持でもいいのではないかと軽い気持ちだったのですが、将来の子どもたちのことを考えたときに、このままの環境ではいけないと自分が変わってきましたので、これから、やはり市民の方たちにも意識を持って考えてもらいたいなというように感じました。

以上です。

【委員長】

他の委員はいかがでございますでしょうか。

【委員】

市民説明会の結果報告を見させていただいたときに、費用負担の公平性に関するところを目

に留まるんですけど、やはり、皆さんお金の心配を先にされるというところですね。

結果報告についてですが、資料1のP5 合併浄化槽への転換促進について、市民説明会でも質問された方もいたとのことですが、私が思ったのが、他の自治体の取り組み事例に関して、熊本市であるとか久留米市あたりと比較するには少し見えづらくなっていうのがあります。撤去費用とかは当然大きな自治体であれば補助は出せるだろうなというのが単純に思うところ です。市民説明会の中でどのような資料を配布されたのか分からないのですが、同じ宮崎県内の自治体でも同じ問題が起こって、転換補助金はこれぐらい他自治体は出してますとか、何か説明があったのかなというところも気になる場所でした。以上です。

【委員長】

3人の委員の皆さんからご感想ご意見いただきましたが事務局いかがでしょうか。

【事務局】

委員さんがおっしゃった、資料1のP5の合併浄化槽への転換促進につきましては、こちらの資料は、前回の振り返りとしての説明でしたので、日向市の現状として、今このような転換補助の金額になっていますというお話をさせていただきました。

今後、これをどのように拡充していくかというところを考えているところです。

市民検討委員会でのご意見をはじめ、費用負担、格差という公平性の部分がキーワードだと認識していますので、厳しい財政事情ではあるけども、国の補助事業などを活用していきながら、市の補助制度を拡充していけたらと考えているところです。今後、来年度の予算要望の時期になってきますが、そのなかでできることを最大限取り組んでいきたいと考えております。

【事務局】

皆様に会議のご案内させていただいたときに、資料を一緒に送付させていただいておりますが、こちらの資料は市民説明会やパブリックコメントで配布をしております。資料P19に他自治体の事例ということで、先ほどお示ししました自治体の事例については、市民説明会の方でも同じ説明をさせていただいたところでした。県内自治体については、自治体独自で補助金拡充等について取り組んでいる事例はありませんでした。

ただし、国の補助基準に応じて、宅内の配管補助金や撤去費用の補助は、県内の自治体でも取り組んでいるところです。

【委員長】

3人の委員の皆さんから大変有益なご意見いただきました。委員がおっしゃった、まだまだ住民の関心が低いのではないかと、確かにその通りだと思います。

ですから、このあたりを提言書の取りまとめのところに、この検討会としてどういうメッセージを市長に報告するのかというところで考えている事項になって、また、2名の委員からのご発言も市民の目線に立って、特に合併浄化槽の転換促進の話をどう考えていくのかというところは、提言書では重要なポイントになってきますので、今、ご意見いただきましたけれども、この後の議論の中でもっと深めていけたらいいかと思っております。

特に合併浄化槽の転換促進で他都市の事例ということで、スペック表になってますけれど、これはなかなか勇気のいる資料でして、国の基準があって日向市はほぼ国の基準通りやってるわけですけど、自治体によってはそれを上乗せしたり、あるいは維持管理経費みたいな形で外付けでまた新しい仕組みをつけたりというところ。上乗せだとか外付けという仕組みを転換促進で入れる自治体もありますので、このような表をわざわざ市民検討会の場に整理をして出されてるということは、当然、行政の方としても、この上乗せなり外付けといったものも検討していく余地があるということで、資料を作成されているかと思います。この市民検討会のご意見というもの今日できる限り集約して、市長の方にお届けできたらと思っています。

他にまだご発言されていない委員の皆様、何か他にここは質問で確認したいとか、ご意見がある方はご発言いただきたいと思いますがいかがでしょうか。

よろしいでしょうかね。

また、ご意見ご質問が出てきましたらこの後の議事のところでご発言いただいてもいいと思いますのでよろしく願いいたします。

4. 議事

【委員長】

それでは、報告事項は、以上の通りにさせていただきます、次に、次第4の議事について進めさせていただきます。

今日ご用意いただいた議事は二つございますが、議事ごとに皆様のご意見ご質問や、ご同意を得た形で議事を進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

まず初めに議事1、「公共下水道事業計画区域の見直し（修正案）」について事務局の方からご説明をいただきます。

【事務局】

議事1) 下水道事業全体計画区域の見直し(修正案)について説明

資料1 P10~P11

【委員長】

ご意見あるいはご質問を承りたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

【委員】

この2ha増えたときの、金額ですね。

以前71億円減りますという話を伺いましたが、この修正によりどうなるのか教えてください。

【事務局】

今回体育館にかかる区域の2ha増の分にかかる下水道事業としての費用についてですが、この分に関しましては、基本的に体育館の事業者が負担する予定として、事業費の部分については下水道事業とは切り離して実施する考え方が基本となっています。先ほどご説明しましたように、体育館が防災の拠点施設としての位置づけもあることも含めて、下水道に流入ができるようにするために、今回の下水区域の見直しのなかで体育館の建設計画と調整を図るという考

え方になっております。

以上です。

【委員長】

委員いかがでしょうか。

【委員】

ということは、2ha の区域増にかかる費用は、体育館の建設費の方で賄うということでしょうか。

【事務局】

体育館整備にあたり、合併浄化槽を設置するか、下水道を整備するかというところで、整備手法はいずれかの形になります。体育館が防災拠点施設になっていることから、下水道として整備した方が防災上の機能強化が図れるという判断をされたということで、体育館建設サイドの方で整備をしていくという考え方になっております。

【委員】

今のプールは浄化槽でやってるってということなんですか。

【事務局】

はい。全部浄化槽により整備されています。

【委員長】

体育館の整備は皆さんご案内の通りでございまして、新しく地域の活性化も含めて体育館の整備が進んでいくわけです。そこに防災拠点を整備していくことに関しても、市民検討会の中で意見が出てきまして、高台に整備されますので、いざというときの市民の皆さんの避難所、あるいは避難場所としても機能するようになるということなので、当然そこで市民の方が一定時間滞在する、場合によっては1週間ぐらいそこで生活をする場になるということになりますので、そういった意味ではこういった上水道・下水道というものの機能が必須となります。防災拠点も含めてスポーツ施設として機能するように考えていくことは、当然なのかなと思っております。

したがって、今回の区域の見直しといったものも、市全体の施設でも総合的に見たときに、やはり妥当性はあるのかなと私個人としては考えております。

それでは、まずこの議事の一つ目でございますけれども、特にご質問、ご意見もないようでしたら、皆様の議決という形で決めていきたいと思っておりますが、よろしいですかね。

では、採決という形になりますけれども、今事務局の方からご説明いただきましたこの一番目の説明につきまして、提案の通り進めさせていただくことでよろしいでしょうか。

ご異議がなければ、皆様のご賛同を得たという形にさせていただきますが、いかがでしょうか。

【委員】

見直し案に関しては反対とかではなくて、書き方としてですよ、元々大王谷の体育館建設予定地は、全体計画区域ではなかったわけですよ。

今回計画区域に入れたから、全体の計画区域が増えたという解釈ですよ。

【委員長】

これは事務局の方からご説明いただくとありがたいのですが、P10のところの変更前と変更後がありますけども、ピンク着色のところになります、全体計画区域の変更前のところにはこの大王谷の区域が含まれております。今回、体育館の整備にあたり、行政の中で調整をした結果、下水道区域に入れる追加提案だと理解していますが、事務局いかがでしょうか。

【事務局】

全体計画区域 1381ha のピンクの区域につきましては、第 2 回の検討委員会では、今の事業計画区域に縮小しますという提案でしたが、その後、先ほどご説明しましたとおり、庁内に意見照会をしたところ、今現在、計画として実際に進んでいる体育館は、合併浄化槽と下水道に繋ぎ込んだ場合のコスト比較であるとか、防災拠点ということも踏まえての判断であるということでしたので、新しい体育館ができた後には下水道の方に流入ができる形で修正しますという考え方です。

以上です。

【委員】

体育館計画が出来てきたから、やはり体育館を作るには下水道の中でちゃんと処理しないといけないからということで、元に戻したってことですよ。

減らす予定だった区域を減らさなくなったというだけですよ。

面積が元々から増えたのか、それとも見直しをするところが修正されたのかを確認したかったところでした。わかりました。

【委員長】

確かにおっしゃるように、ここのところから誤解を受けるようなことだとまずいと思いますので、ある意味、委員が冒頭申されたように行政が言ってることに、途中でいろんな意見を言っても修正されなくてそのまま進んでいくということに、市民の皆さんが誤解されて諦めムードなどもあるんじゃないかというお話がありましたけど、まさにこの市民検討会で、こういったプロセスの中で意見をいろいろ集めてくる中で、新しくこういった体育館の部分が追加になったということでもありますので、そういった意味ではこれは前向きに捉えて良い修正のかなと私は捉えておりますが、委員いかがでしょうか。

【委員】

はい、わかりました。

【委員長】

他の委員の皆様いかがでございますか。反対がなければ、こちらの方は皆様ご同意をいただ

いたという形で進めさせていただきましてもよろしいでしょうか。

はい、ありがとうございます。

議題1につきましてはお認めいただいたということで、続きまして議事2ですね、提言書の案のご審議に移っていきたくと思います。こちらにつきましては、後ほど事務局の方から提言書の案について詳細にご説明いただきますけれども、私の方から冒頭に提言書を作成したプロセスについてご説明をさせていただきます。

まずこの提言書につきましては、この委員会を代表いたしまして、私の委員長名で市長の方に提言書をお渡しをするという形になっておりますので、委員長の名前でありましても、あくまでこの検討会で出たご意見というものを集約をして、それを代表して委員長が市長にお届けするというものになります。

従いましてこれまで検討会でご議論いただいたご意見の内容、それから私も1回という形で限られておりますけれども、市民説明会に出席しましたが、説明会で出された市民の皆さんのご意見ですね、それから事務局の方にこれまでご用意いただきました膨大な資料ですね、こういったものを集約する形でこの提言書の方を整理したらどうかと考えております。

従って、本構成としては大きく二つのパートで構成しています。

一つは日向市の下水道事業の現状と課題ということで、これまで皆様からも問題提起をしていただきましたけれども、大きく人口減少といったものを背景に従来通りの公共事業というものがかなり難しくなっていること、その代表的なものが下水道事業になるのかなというところで、そこに昨今いろいろ挙がっております社会経済状況の変化も加えて整理をさせていただいたところが、日向市の下水道事業の現状と課題というところでございます。後段に記載のこの検討委員会としての提言というところのとりまとめは、大きく三つの提言というものを市長の方にお渡しをできればと思っております。提言のところは、先ほど委員皆様からもいろいろご意見ありましたけれども、皆さん自身が持つておられる意見というものが、ここにどうやってコンパクトに集約できるかというところが要になっておりますので、特にこの後の提言書案についてのご説明を聞くなり、配布した資料の詳細にお目通しいただいて、皆様自身の考えというものがしっかりこの中に入っているかというところをご確認いただけたらと思います。

こちらの提案書につきましては、事務局と私の方で共同で作業させていただきました、8月10日に一度大学の方で事務局と議論いたしまして、その後に修正されたものを私の方で再修正をさせていただいたものが、今回皆さんに配布してる資料となっております。

それでは詳細につきましては事務局の方からご説明いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

【事務局】

資料. 3 「日向市公共下水道計画区域の見直し」についての提言（案）について読み上げ

【委員長】

以上のものが、事務局と私の方で起案をさせていただきました提言書の案になります。

先ほど委員がおっしゃった市民への説明をしていかないと無関心の層があるだろうというところ、これはごもつともで、そのところを先ほどご説明いただいたように丁寧な説明や市民にきちんとご関心を持っていただくような記載を入れさせていただいてるのかなと、それから

他の委員からも同様のご意見をいただいたところでしたけれども、そこに丁寧に啓発・広報活動というもので理解を得られていく、こういったところの記載も提言では入ってるのかなと思います。

それから委員もおっしゃってた費用の話ですね、これまさに提言3の根幹の部分の一つという形になっておりますので、この辺りご覧いただきながらご意見をいただいて、過不足がないものをまとめていきたいと思っています。

ご質問ご意見がございましたらよろしくお願いいいたします。

【委員】

3つの提言に関してではなくて、前段の1ページ目の中です、まず全体計画を整備していく場合、77年間もの長期の事業期間になるという記載ですが、これは2050年までかかるという意味ですか。

77年間っていうのは、今後ですよ？はっきりわかるように書く方が、今から77年かかるんだっていうことがよくわかるのではないかと思います。

これだと昭和48年からかけて77年だったら2050年で終わるじゃないか、とも思ってしまうし、こういうのを市民の方が見るということはあまりないかもしれませんが、まず書き方としてはそういう表現がいいなっていうのと、それから2の委員会としての提言の中で、フィロソフィーって何でしょう？どういう意味ですか。日本語で言うと哲学でしょ？

哲学って書くとなんとなく文章として体を成さないのかなとも思うけど、普通に読んだらどうということ？って思ってしまうっていうのが、私の素直な意見でございます。

その辺りのこの文章を検討していただくといいかと思いました。

【委員長】

約77年間のところをわかりやすく年号なり西暦を入れて、完成がいつぐらいまでの時期なのかっていうところが具体的にわかるような形の記載に直させていただきます。

フィロソフィーはペダンティックな表現で、我々好きなものですからこういう表現になっていきますけれど、これは京都大学の西周先生がギリシャ語を訳したのが哲学っていうことなんです、もっと言うと未来を示す基本的な考えとか基本的な理念だとか哲学という意味ですので、ここはフィロソフィーじゃなくて耳慣れた一般の方にわかりやすい表現に修正をさせていただく形にしたいと思います。

ご指摘ありがとうございます。

他にはどなたかご意見ご質問でも結構ですのでございますでしょうか。

指名して恐縮なんです、行政の実務の観点からお二人の委員からご意見を賜りたいと思うのですが、いかがでございますでしょうか。この提言書をお読みいただいて。

【委員】

内容については特に異論はございません。現状と課題・それから提言についても、今後の継続的な下水道事業というのを考えたときに、見直しは必要だというご意見も委員会で出席させていただくなかで、感じております。

提言の方についても、その前段として市民に向けた説明会だったり、あるいは意見をもらっ

たりという場を設定して丁寧にやられてるということで、手続きについてもよろしいのかなと思っております。

説明会に参加している人数が少ないというところもありましたので、この提言にも書いてありますが、今後の見直しにあたってですね、やはり市民の方のご理解も得ながら進めていただければよろしいのかなと考えております。

以上です。

【委員】

私の方もですね、特に異論等はありません。

事前に送っていただいた資料で、人、物、金という課題の整理において、非常に赤裸々としてこういった問題があるんだよということも、最初に住民の方に伝えているということで、住民の方の理解もあるのかなと思っております。

やはり住民説明会等であったように整備費用や今後の維持管理等の費用の問題ですね、市民の方の環境に対する意識を上げていく必要があるんじゃないかということも出ておりますので、そのこともこの提言の中に入っておりますので、事務局の方につきましてはこの提言を基に、計画を進めていただければと思っております。

以上です。

【委員長】

他にはいかがでしょうか。

せつかなので感想でも結構なんですけど、提言書をお目通しいただいていかがですか。

【委員】

素晴らしく丁寧にまとめてあると思って感心して読んでおりました。

具体的に合併浄化槽への転換促進事業がスムーズに進めるように早くなってくれればと感じております。

以上です。

【委員長】

前回委員の方から合併浄化槽の必要性というところで、市民の方でも理解されてない方が結構いらっしゃるんじゃないかということもありましたので、この提言2のところの最後のフレーズのところですよ、さらについていうところはですね、そういったご意見等は参考にさせていただきながらの啓発広報活動、理解が得られるようにというのは加えさせてもらっています。ご意見ありがとうございました。

他の委員方いかがでございますでしょうか。

【委員】

私も同じで、この会議に出ていなかったとしても、この内容を見たらわかるというような出来上がりではないのかと思いました。

区域見直しに関して知りたいことが記載されていますので、私の方から内容については特に

ありませんが、1の部分の下から4行目「SDGsなどの新たな環境問題の配慮」という表現がですね、SDGs自体が新たな環境問題のように受け取れるとも思ったところで、SDGsなどの新たな環境改善目標への配慮っていうような表現が適切なのかなと思いました。SDGsって今はどこでも使われてるので、みんな知ってるでしょうという前提なんだろうけど、それこそさっきのフィロソフィーじゃないですけど、何でしょうねっていう人が目にとまることがあった時に、SDGsなどの新たな環境問題があるのかなって受け取るのかなと思ったので、SDGsなどの新たな環境目標への配慮っていう意味合いかと思うので、少し見直しをしていただきたいと思いました。

内容については特にありません。

【委員長】

委員のおっしゃる通りです。

その部分も私が書いたんですけど、委員の意見伺っていてそうかなと思いました。正確にわかりやすく誤解がないように記載していきたいと思います。

ありがとうございました。

他の委員いかがでしょうか。

いろいろと具体的なお提言をこれまでいただいておりますけれども、可能な限りそれを盛り込むように配慮したつもりなんですけど、いかがでしょうか。

【委員】

文句のつけようがないですね。これは素晴らしいと思います。

以上です。

【委員長】

委員はこれまで住民のお立場から代弁していただきましたけれども、行政と住民の立ち位置というものが、どうしても意識とか情報が離れてしまっていて、そこを近づいてくる労力が双方必要なんでっていうところが、これまで委員のご意見を伺って大変印象に残っております。そういった意味では、この提言書というものが、行政と市民あるいは地域の皆さんを引き寄せるような一つの提言書になればいいかなと思っておりまして、追加で何か書くことはございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

【委員】

大丈夫です。素晴らしいです。

よろしく申し上げます。

【委員長】

他の委員いかがでございますでしょうか。

【委員】

はい、見させていただいたんですが、我々としての立場としても問題なく、素晴らしい提言

書ができてるなと思います。

以上でございます。

【委員長】

委員の皆様のご発言とか、それから事務局に用意された資料を、お聞きいただいて、何かこれに関する事以外のご感想でも結構ですが、何か一言ございましたらお願いしたいと思いません。

【委員】

事前に資料を読み込んできたんですけども、特にこちらから質問するようなことはありません。

【委員長】

他に何か全体的に見て追加のご意見ございませんか。

【委員】

本当に日向市の人口減少っていうのは切羽詰まってるところに来てるので、もうあと何年かすれば5万5000人台ぐらいになってしまうとか、少子高齢化、人口減少っていうのがあれば、予想人口がこれぐらいになるんだよっていうのがあっても、本当の危機感みたいなものが訴えられたらいいかなと思ったところです。

【委員長】

そうしますと、具体的な人口減少といいますか、今回の中だと行政人口という言い方を具体的に住人登録されている方の人口が減っていくということがあるわけですけども、そういったところも具体性があった方がいいというご意見、そういう理解でよろしいでしょうか。そこにも留意する形にしていきたいと思います。

他にご意見ご質問ございましたら、いかがでしょうか。

そうしましたら提言書の方の採決に移りたいと思いますけれども、この原案に今日いただきましたご意見というものを反映させ、修正したものを市長にお渡しをするという形にさせていただくことをご同意をいただけますでしょうか。

【委員】

異議無し。

【委員長】

では、これまでお読みいただいたように、基本的にはこの提言書の文案というものはこの形で進めさせていただきますけれども、先ほど皆様から出していただいたご意見につきましては、私の方で修正案を作りまして、これは行政実務の観点から事務局の方に点検をしていただいて、しっかり行政としてこれを受け取っていただいて読んでいただけるようになっていくかというところをチェックをしていただくということで、私の方にご一任いただく形で修正案を作らせ

ていただき、次回の第4回委員会の提言書という形で使用させていただくという形にさせていただきますけれどもよろしいですか。

【委員】

異議無し。

【委員長】

はい。長時間本当にご審議ありがとうございました。
異議が特にないということですので、こちらの提言書の案について整理をさせていただいたものは最終案という形にさせていただきたいと思います。

5. 連絡事項

【委員長】

それでは最後に次第の5番目ですね。連絡事項、こちら事務局の方から説明をいただきます。

【事務局】

連絡事項 今後のスケジュールについて説明

資料1 P13

【委員長】

第4回委員会の在り方については、私の方からお願いしまして、提言書の提出にあたっては、委員長が市長室に行って形式的に渡す形よりも、皆さんに活発にご意見を出していただいて、良い形の検討委員会ができたかなというのが私の感想なので、できましたら私1人ではなくて、皆さんと一緒に市長のもとに提言書お渡しするなかで、意見交換もできたらと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思います。

では、第4回委員会は、通常の委員会とは異なりまして、市長の方にご提言書を渡すような最終の場という形になりますけれども、よろしいでしょうか。

【委員】

異議無し。

【事務局】

先ほどからの提言書のご意見をいただいた内容につきましては、委員長の方から修正をいただいた分の中で、事務局の方でも確認をさせていただき、最終的に調整が取れたものを10月10日以前に、皆さん方に郵送等で報告をさせていただきたいと思います。
以上です。

【委員長】

それでは最後になりましたので、一言私の方から皆様にお礼のご挨拶をさせていただきます。
今日で実務的なご検討いただく場の最終の場という形になります。本当に皆様にお忙しい中ご

出席をいただきまして、活発にご意見をいただきまして、皆様お一人おひとりの意見というものが私の耳に残っておりまして、皆様のご意見が一つでも欠けると良い提言書にならなかったと思います。

最後はやはり委員がおっしゃったように人口減少の問題ですね。

明治維新から、日本の人口は4倍に上がってきたわけですが、これが本当にこれからの人口減少ということで、平成27年の国勢調査から日本の人口は減ってきて、今年7月に人口動態調査の報告ありましたが、日本人の人口は東京都も含めて対前年比、47都道府県で全部減っているということになってますので、そういった意味ではこれまでのようにつくり続ける公共施設、インフラこういったものの整備もどうしても立ち行かなくなっておりまして、一番代表的なもの小中学校の廃校問題ですね。

廃校というのは本当に目に見える形で残されてますけれども、ああいう使わなくなったような公共施設にどうするんだという問題があるわけですが、まさにこの代表するインフラが、地下に埋設されている下水道なんだろうと。下水道処理施設が市民生活からなかなか目に触れない場所にあるものですから、なかなか我々としては気づかない・わかりづらい、ただこういったものが深刻な状況に段々と時間が経つにつれ、深刻度が増してきてるということになっておりますので、そういった意味ではちょうどこの転換期の中で皆様のご意見をいただいて、これが検討会の提言という形でまとまる形になったことが、私としては大変ありがたいし、良い結果が出せたんじゃないかと思っています。

今回の委員会、市長の方にこの提言書をお渡しする場になりますけれども、最終的な提言書について、改めて委員の皆さんに目を通していただき、何かございましたら対応をさせていただきますので、引き続き10月10日までご指導を賜りたいと思っております。

今日はご指導ありがとうございました。

それでは事務局の方にお返しをいたしたいと思っております。

【司会】

それでは本日の会議をもって本委員会の全ての議事は終了となります
委員の皆様、本日も熱心なご審議をいただきましてありがとうございました。

市長への提言書提出日につきましては、10月10日（火）16時より、市長室にて行う予定となっております。

開催時期が近づきましたら、改めまして文書にてご案内させていただきますので、ご予定の方、よろしくお願いたします。以上をもちまして、第3回日向市公共下水道事業計画市民検討委員会を終わります。

6. 閉会